

8. 2025年度日本数学会賞建部賢弘賞の授賞について

第30回にあたる本賞の2025年度授賞者の推薦募集は、会報195号及び196号で行いました（『数学通信』第29巻第3号及び第4号）。受賞者と業績は次の通りです（五十音順、敬称略、所属は受賞時点のものです）。なお、今回から特別賞は、一般財団法人数理科学振興会との共同事業として実施されます。

特別賞

社本陽太（大和大理工 講師）：ストークス構造に関する研究

関真一朗（長浜バイオ大バイオサイエンス 講師）：コネクタールおよび離散反復積分による多重ゼータ値の研究

世良透（阪大基礎工 講師）：間欠力学系に対する確率論的研究

藤岡禎司（福岡大理 助教）：曲率が上または下に有界な距離空間の幾何学

村上友哉（九大数理 学振PD）：量子モジュラー形式の研究

Lorenzo Cavallina（東北大理 助教）：複合媒質における過剰決定問題の解析

奨励賞

青木悠史郎（東京高専 助教）：Martin の公理の部分公理群と梯子系の色付けの一様化の関係

片山翔（東大数理 博士課程3年）：半線形楕円型方程式の解構造および関連する諸問題について

北村侃（理研数理創造研究センター 基礎科学特別研究員）：作用素環的量子群の研究

菅原朔見（北大理 助教）：超平面配置の研究：極小性，ハンドル分解，局所系コホモロジー

松井一徳（東京海洋大学術研究院 助教）：圧力境界条件を含む流体問題に対する射影法の数学解析